

石積会長が浜田新会長にバトンタッチ

新しい副会長も就任、執行部がさらに充実

石積氏は名誉会長として、会場建設を推進

2019年5月28日(火)、一般社団法人日本展示会協会(略称:日展協)は定時総会に続き、懇親会を開催した。日展協は、大規模展示会の主催者、会場、支援企業(装飾、電気、ホテルなど)で構成される日本最大の業界団体であり、過去10年間、会員が毎年増え続け、現在は334社を誇っている。

日展協の拡大に比例して、日本の展示会産業も毎年拡大を続けている。例えば、従来からの展示会が規模を拡大していることに加え、過去に無かった斬新な展示会が次々と打ち上げられている。その結果、日本中の展示会場が、ほぼ全て満杯状態になっているほどである。

その日展協を牽引してきたのは、10年前に会長に選ばれた石積忠夫氏であることは衆目の一致するところであり、展示会業界はもちろん、政治・行政、経済界でも、石積会長の名は広く知られている。したがって、今後も当然、石積氏が会長を続けていくものと殆どの方が思っていた。

ところが、総会懇親会で挨拶に立った石積会長の発表は、参加者である展示会産業のVIP600名を驚



石積名誉会長(左)は挨拶の後、浜田新会長(右)を壇上に招き、手を取り、参加者に向けて、新しい日展協の門出を訴えた。

かせ、一瞬、会場が静寂に包まれた。しかし、演説が進むにつれ、会場の雰囲気は安堵と将来への明るい希望へと大きく変化した。

前ページの写真は、新しく名誉会長に就任した石積氏が、挨拶の最後に、新会長の浜田氏を紹介し、壇上に招き、固い握手を交わし、二人で両手を上げて全会員に向かって今後の更なる発展を訴えた場面である。殆どの出席者は、劇的で前向きな「会長交代劇」に感動し、大きな拍手を送った。

それでは、新しく名誉会長に就任した石積氏の挨拶を紹介しよう。

石積名誉会長が 熱く語る

新会長には、浜田氏(マイナビ専務)が最もふさわしい

石積も引き続き、日展協と業界発展に全力を注ぐ！

「皆さん、こんばんは！ 私は、先ほどの総会で日展協会長を退任し、浜田新会長にバトンタッチをいたしました。

2009年に会長になって以来、5期10年にわたり、日展協発展に全力を尽くすことができましたのも、ひとえに会員の皆様が、私の『日本の展示会産業を拡大し大きく発展させたい』との思いを理解してくださり、絶大なる御協力を下さったお蔭と改めて感謝申し上げます。

(中央に向いて) 皆さん、10年間、誠に有難うございました！ (会場左手に向いて) 誠に有難うございました。(会場右手に向いて) 有難うございました。」

すると、会場から万雷の拍手が沸き起こり、1分以上の間、鳴りやまなかった。

さらに、石積名誉会長は続けた。

「この10年間で、日展協は 毎年、変わり続け、大きく発展し続けて参りました。

① まず、**日展協会長の最大の責任は、会員数を毎年増やし続け、新年会など全ての会合への参加者を増やし続けることであると、私は確信し、そのことに全力を注いでまいりました。**その結果、会員が10年で2倍の334社になり、新年会など、あらゆる会合やイベントへの参加者が毎年増え続け、日展協の活動が大きく活性化しました。

基本的なことですが、この事実こそ、日展協が発展したことを明確に物語っております。ご協力いただいた会員の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

② 2番目に、**日展協の会員同士が活発に交流を行い、刺激しあい、競争しあって新しい展示会を次々と打ち上げるようになりました。**これこそ、業界団体の本質的な意義であり、日展協は見事にその役割を果たしたと自負しております。



「この10年で日展協は大きく変わり、発展した。会長として全力を尽くすことができたのも、ひとえに会員の皆様のご協力のおかげ」と語る石積名誉会長(前会長)

- ③ さらに、この10年間で私は政治家、官僚の方々 約3,000名に、私どもが開催する展示会に実際に来ていただき、商売が行われている実態や、世界中から何千名も来場している事実や、1回で何千名もの大工さんがブース施工を行っている姿を、直接見ていただきました。単に外側から開会式を見たり会場を歩くだけでは展示会の重要性を感じられないと確信したからです。その結果、国会議員が100名加盟する『展示会産業議員連盟』ができましたし、展示会の重要性を明確に認識する官僚の方々が何十名、何百名にも増えたと思っております。
- ④ 4つめの最も重要な変化は、東京ビッグサイトや、横浜、名古屋、沖縄などが会場の新設・増設を決め、さらに、IRへの期待とともに、大阪や横浜でも会場建設の動きが高まっていることです。私は浜田様から『名誉会長として、引き続き、会場建設・増設に全力を尽くしてほしい。それが日本の展示会産業の最大の課題だから』と強く要請されました。私は浜田様のお考えに強く同意し、積極的に要請をお受けいたしました。

最後に、私から新会長になる浜田さんを、特別に紹介したいと存じます。実は私は、以前から『会長は各社が持ち回りで引き受け、全会員が日展協を支え、盛り上げていくことが、本来のあるべき姿だ』と考え、4期目を迎える頃から、様々な方に会長就任を打診してまいりましたが、それぞれの事情で、なかなか引き受け手が見つかりませんでした。

ただし、今年については、『節目の10年目になること』や、『オリンピック問題も一区切りを迎えたこと』から、今まで以上に早くから、会長になっていただく方を探す活動を開始しました。その結果、『新会長には浜田さんが最もふさわしい』と確信しました。その理由は・・・

- ① 日展協の副会長、人材育成委員長として着実に成果を出され、大きく貢献されたからです。



② 浜田さんは、100人にも満たないごく小さな会社だったマイナビに入社され、それを今の1万人の大企業に発展させた立役者であり、現在は同社の専務としてご活躍中の方です。このような手腕と実績がある浜田さんだからこそ、日展協も今まで以上に大きく発展させてくれると確信したからです。

私が実践している経営哲学の一つは、『重要な仕事を誰かに任せ、バトンタッチする時は、自分の周りにいる最も忙しい人をお願いする』というものです。その観点から、『超多忙な浜田さんだからこそ、会長として日展協を発展させてくれる』と確信し、会長就任を説得いたしました。最終的には、積極的な気持ちで受け止めてくださった浜田様に改めて敬意を表します。

それでは皆さん、日展協の新しいリーダー、浜田会長を正式に紹介いたします。盛大な拍手でお迎えください！」

浜田 新会長が決意表明 展示会産業の発展に全力を尽くす！

続いて、新たに会長に就任した浜田 憲尚氏((株)マイナビ 専務)が挨拶を行った。

「皆さん、こんばんは！このたび、日本展示会協会の会長に選出いただきました、浜田でございます。

この大役を引き受けるということになり、非常に緊張しております。そして、10年間会長として、展示会業界の発展のために、心血を注いでこられた石積名誉会長の仕事ぶりを間近で見えてきた立場としまして、私に後任が務まるのか、皆様の期待に応えられるのか、不安に感じている、というのが正直な気持ちです。

しかし、私が約10年前に日展協の活動に参加し、初めて石積名誉会長の講演を聞いたときに感じた、展示会業界に対する熱い思いは、今も私の中に身震いするほどの感動として、深く残っております。

そしてその後、活動を共にさせていただく中で、展示会業界が日本経済に与えるインパクトの大きさ、展示会業界の発展余地、可能性、重要性を深く知り、**展示会が日本の社会にもたらす価値をもっと高めることにチャレンジしたいという思いは私の中でこの10年間で大きくなってまいりました。**

そんな折、石積前会長より、会長になってほしいという話をいただき、僭越ながらこのたび会長を務めさせていただくことになった次第でございます。

ただ、『展示会業界の可能性』とは申し上げましたが、日本の展示会業界を取り巻く状況は決して楽観できる状況ではないと考えております。

① まずは、会場問題です。ビッグサイトのご協力もあり、オリンピック問題は一つの区切りを迎えた



「業界が直面する様々な課題に全力で取り組み、展示会産業の価値を高める！」と宣言した浜田新会長

とは言え、**展示会業界のさらなる発展のためには、会場建設はまだまだ推し進めなければなりません。**この点に関しましては、石積様に名誉会長として引き続き具体的にお力添えをいただきますが、**日展協全体の問題としても、真摯に取り組むべきだ**と考えています。

- ② また、**国際化問題も重要な課題です。**国内の経済はすでに、成熟期を迎えておりますし、成長見込みも良好ではございません。日本は世界を代表する経済大国であり、市場としてのポテンシャルは高いながらも、今後、あらゆる産業で海外需要の取り込みや、グローバルな企業間取引を活発にする必要があるとされております。そうした意味で、この展示会業界がより一層国際化に焦点を当てる必要があるのは、皆様も認識されている通りであり、日展協としても、これまで以上に**取り組むべき課題だと認識しております。**

会長に着任させていただいた限りは、日本の展示会業界をさらに発展させるために、こうした課題の解決に、ひとつひとつ真剣に取り組みます。また同時に、ここにお集まりの会員の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、私自身先頭に立って、展示会業界の発展に全力を尽くす所存でございます。

微力ではございますが、皆様のご協力も賜りながら、皆様と一緒に日展協を今後より一層盛り立てていくことができれば幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました！」

吉田 副会長が 乾杯の音頭

展示会業界に誇りを持ち、日展協を盛り上げよう！



次に、吉田副会長が壇上に立ち挨拶し、乾杯の音頭をとった。

「先ほど、『浜田丸』が出航いたしました。組織というものは、人事の刷新があれば間違いなく活性化します。浜田新会長はハードルが高ければ高いほど、それを乗り越えようとされる方です。皆さんも今後の日展協にぜひご期待をお願いしたいと思います。

展示会業界は、皆さんの貴重な人生の時間を費やして足るに余りある仕事だと、私はそう思っています。この展示会業界で働いていることについて、我々は、もっとも自信と、自負と、誇りを持つべきだと思います。皆さんがこれから、我々に続く後輩たちにこの情熱を伝え、この仕事の素晴らしさを伝え、

日本経済発展に資する縁の下の力持ちとして、ぜひ、日展協の今後にご協力いただきたいと思っております。

それでは、本日ご列席の皆様のご健勝と、本日ご列席の皆様の所属されている企業並びに団体のますますのご隆盛を祈念申し上げて、乾杯したいと思います。大きな声でご唱和願います。乾杯！」

日展協 執行部（副会長、理事、幹事）をお披露目 一同が壇上で「頑張ろう！」と氣勢を上げる

次に、先ほど行われた総会で選出された日展協執行部 21 人が壇上に上がり、一人一人が正式に紹介された後、全出席者およびマスコミ用に記念撮影が行われた。さらに、会場からの求めに応じて、全執行

部が「頑張ろう！」と拳を上げ、氣勢を上げた。下の写真は明るく、やる気に満ちた雰囲気での交代劇をよく表している。交代劇と言えば、もっと大人しく重々しいことが一般的だと思うのだが、日展協の場合は、明るくエキサイティングで画期的な交代劇であった。

(一社)日本展示会協会 令和元年 総会 懇親会

新しい執行部のお披露目

日時：令和元年 5月28日(火) 18:30～ 会場：東京ビッグサイト



【前列】(左から)会津理事(ソニー・ミュージックエンタテインメント)、渡邊理事(JTBコミュニケーションデザイン)、迫副会長(日本経済新聞社)、越野副会長(日本包装技術協会)、浜田会長(マイナビ)、石積名誉会長(リード ジャパン)、荒井副会長(フジサンケイビジネスアイ)、吉田副会長(トーガシ)、堀理事(イハート)、尾崎理事(映像センター)

【後列】(左から)芝本理事(西尾レイトオール)、狐塚理事(日本イージェイ)、菅野理事(日本自動車工業会)、越智理事(日本旅行業協会)、野田理事(Human Delight)、梶原理事(メッセ フランクフルト ジャパン)、イブ理事(UBM ジャパンホールディングス)、田中(岳)理事(リード ジャパン)、高橋監事(ケン&スタッフ)、田口監事(博展)、田中事務局長

一般社団法人 日本展示会協会 新 執行部 一覧

2019年5月28日現在

名誉会長	石積 忠夫	(リード エグジビション ジャパン 代表取締役社長)
会長	浜田 憲尚	(マイナビ 専務取締役)
副会長	越野 滋夫	(日本包装技術協会 専務理事)
副会長	荒井 一則	(フジサンケイビジネスアイ 営業・事業本部部長)
副会長	迫 宏治	(日本経済新聞社 執行役員)
副会長	吉田 守克	(トーガシ 代表取締役)
理事	会津 良一	(ソニー・ミュージックエンタテインメント 経営企画グループ チーフ マネージャー)
理事	クリスファー・イブ	(UBM ジャパンホールディングス 代表取締役)
理事	尾崎 求	(映像センター 代表取締役社長)
理事	越智 良典	(日本旅行業協会 理事・事務局長)
理事	梶原 靖志	(メッセ フランクフルト ジャパン 代表取締役社長)

(次ページに続く)

理事	狐塚 直純	(日本イージェイケイ 代表取締役社長)
理事	芝本 和宜	(西尾レントオール 常務取締役)
理事	菅野 幸司	(日本自動車工業会 モーターショー室調査役)
理事	田中 岳志	(リード エグジビション ジャパン 専務取締役)
理事	野田 万起子	(Human Delight 代表取締役)
理事	堀 正人	(イノベント 取締役代表執行役社長)
理事	渡邊 明督	(JTB コミュニケーションデザイン トレードショー事業部長)
監事	高橋 秀	(ケン&スタッフ 専務取締役)
監事	田口 徳久	(博展 代表取締役社長)
事務局長	田中五十一	

※ 写真入りの組織図は 10 ページ参照

新しい執行部への期待の声、多数

乾杯の後、歓談が始まり、例年通り参加者同士の活発な交流が行われた。そこで大きな話題となっていたのは、前会長（石積名誉会長）のこれまでの活動への感謝と、新しい執行部やオリンピック後の展示会業界発展への大きな期待であった。参加者の主な声を次ページに紹介する。



ほぼ全会員に加え、日展協に未加入の展示会関係者が参加し、予想以上の人数になったため、総会懇親会の直前に急きょ会場を2倍に拡大して開催した。会場内は参加者の熱気に包まれ、展示会産業の発展を感じさせた。

参加者からの声（一部抜粋）

- ① 石積会長はオリンピック問題という、政治行政からのプレッシャーがかかる状況の中、我々の代表として業界の声を強く訴えてこられた。その勇氣に、感動と感謝を覚えている。
- ② このような明るく感動的な交代劇を見たのは初めてだ。浜田新会長の経歴や人柄も的確に紹介され、会員の間にも大きな期待が高まった。日展協会員として誇りを持った。
- ③ 浜田新会長はマイナビ成功の立役者で極めて多忙な人だと聞いている。それをよくぞ説得して会長になってもらったものだと思う。日展協がさらに発展しそうだと感じた。
- ④ 浜田新会長のスピーチも力強く頼もしく思った。石積名誉会長の後を継ぐにふさわしいと感じた。
- ⑤ 最初は、石積会長が日展協から完全に退任すると誤解したのでショックを受けたが、今後も日展協と展示会産業の発展のために精力的に活動すると聞いて安心した。今まで通り、石積氏が築いてきた政治行政、産業界へのパイプを生かして展示会場建設に貢献してほしい。
- ⑥ 「日展協に入ることの具体的なメリットとは何か」という会話をよく聞くが、「日展協の会員同士が活発に交流を行い、刺激しあい、競争しあって新しい展示会を次々と打ち上げている」という石積氏の話聞き、日展協の会員であることそのものがメリットだと思った。
- ⑦ 石積会長は挨拶の中で、「本来、業界団体の会長は持ち回りで引き受け、会員全員で支え、盛り上げていくのがあるべき姿だ」と述べたが、その言葉に感銘を受けた。私たち会員も一人に頼るのではなく、全員で積極的に日展協の活動に参加し、発展に貢献すべきだと思った。
- ⑧ 浜田会長とも名刺交換させていただいたが、若さあふれるエグゼクティブという感じで、石積会長が築いた日展協をさらに変革し、新しい時代を切り拓いてくれるものと確信した。



- ⑨ 日展協にまだ入会していない有力主催者がいるが、大変残念なことであり、ぜひ入会してほしいと願う。会員同士の切磋琢磨によってお互いに成長しているのが日展協の雰囲気である。ぜひ、参加して全員が結集して展示会産業の拡大に貢献してほしい。
- ⑩ オリンピック問題によって、この2年間、困難に直面せざるを得ない。しかし、今日の懇親会を通して勇気づけられた。2021年以降の大きな発展に期待が持てた。

フジサンケイ 荒井副会長が 中締め 新執行部は、浜田会長のもと、更なる拡大を目指す！



開会から約1時間半。会場の熱気は依然冷めやらぬ中、ついに終了の時刻となり、荒井副会長が登壇し、次のように中締めの挨拶を述べた。

「令和の始まりとともに、日展協にも新しい時代が参りました。浜田新会長を支え、日展協と展示会産業の拡大にご協力いただくよう、心からお願いしたい。一緒にがんばりましょう！」

その後、三本締めが景気よく行われ、総会懇親会は終了したが、その後も多くの参加者が会場に残り、名残惜しそうに交流を続けていた。

新執行部のお披露目と同時に新たな一步を踏み出した日展協。展示会産業の更なる拡大に、今、大きな期待が集まっている。



中締め後も、多くの人が帰らず、会員どうしの交流に夢中になっていた。浜田会長の周りには常に人だかりが絶えなかった。

お問い合わせ： 一般社団法人 日本展示会協会 国内広報委員会 TEL: 03-3518-2640

2019・20年度 日展協 執行部

2019年5月28日 現在
※順不同。敬称略

会長



浜田 憲尚
(株)マイナビ

名誉会長

(前会長)



石積 忠夫
リード エグジビション
ジャパン(株)
展示会場の
新設・増設 推進 など

副会長



越野 滋夫
(公社)日本包装技術協会



荒井 一則
フジサンケイビジネスアイ



迫 宏治
日本経済新聞社



吉田 守克
(株)トーガシ

理事



会津 良一
(株)ソニー・ミュージック
エンタテインメント



菅野 幸司
(一社)
日本自動車工業会



梶原 靖志
メッセ フランクフルト
ジャパン(株)



芝本 和宜
西尾レントオール



野田 万起子
Human Delight(株)



堀 正人
(株)イノベント



渡邊 明督
(株)JTB
コミュニケーションデザイン



越智 良典
(一社)
日本旅行業協会



狐塚 直純
日本
イージェイケイ(株)



クリストファー・イブ
UBM
ジャパン(株)



田中 岳志
リード エグジビション
ジャパン(株)



尾崎 求
(株)映像センター

事務局



事務局長
田中 五十一



事務局次長
小杉 榮作

監事



高橋 秀
(株)ケン&スタッフ



田口 徳久
(株)博展

問合せ先

一般社団法人
日本展示会協会 事務局

所在地: 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-10 四国第二ビル 2階
Tel: 03-3518-2640 Fax: 03-3295-7007
E-メール: info@nittenkyo.ne.jp ホームページ: <https://www.nittenkyo.ne.jp>